



歴史的遺産を未来へつなぐ

■ 仙台城跡石垣復旧工事

令和3年2月および令和4年3月の地震で被災した仙台城跡石垣復旧工事の現場において本丸北西・西門（とりのもん）の石垣復旧に携わりました。後世に継承すべき歴史的遺産であることから非常に難易度も高く、今まで実績のない工事でした。そのため手探りで施工を進めるなか、現場においては高い技術力を発揮し安全・品質・生産性向上に貢献し元請から高い評価をいただき、11月に所長賞を受賞しました。

復旧前



施工中



復旧後



工 事 概 要

本工事は、令和3年2月および令和4年3月発生の地震により崩壊した石（約775個）を含む約5,800個の石を一度解体して積み直しました。



東北支店 土木部
土木工事事務 工事一課
主任 佐藤 大志（勤続24年）青森県立藤崎園芸高校 卒

この現場は、災害により被災した石垣復旧工事であり石垣撤去、番付からの石積み工事と、今まで経験したことのない難易度の高い現場でした。特殊工事なので石工との打ち合わせを日々行い、安全性や施工性を考慮した施工を心がけ、昔ながらの石積みの在来工法にジオテキスタイル※など新しい工法をプラスしてハイブリッドな工法に挑戦し無事に完成することができました。協力会社の方々の協力もあり無事故での竣工を迎えることができました。

※ジオテキスタイル：主に地盤の補強、排水、分離、フィルター機能などを目的に使われる浸水性のある繊維製シートで、盛土や擁壁などに利用します。

株式会社景観システム
職長 江川 佑斗

この現場では、今まで我々の石積みの在来工法とは違い、未経験であった新しい工法も追加され最初は戸惑いました。しかし、打ち合わせを重ねていき不明な点を解消していきながら、無事に施工を完了することができました。今回仙台城跡の石垣を担当させていただいたことを大変ありがたく、誇りに感じています。今回経験できたことを若手の教育・指導に生かし、後世に残していこうと思います。

